

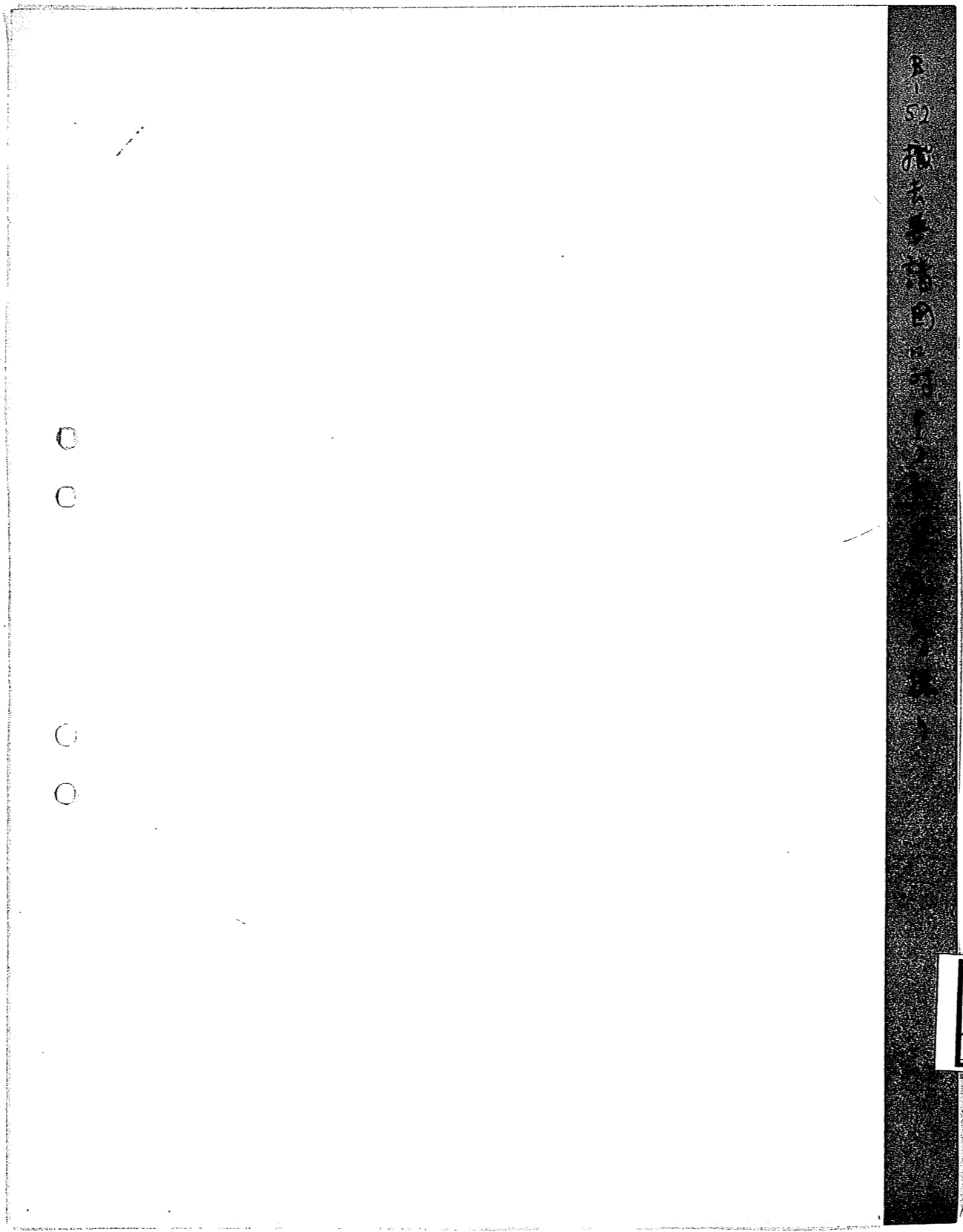
琉球大学学術リポジトリ

沖縄返還交渉資料第4巻

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-07 キーワード (Ja): 総理訪米, 米国人記者との会見, 総理, 愛知外相, ニューヨーク・タイムズ, 愛知外相・ロジャーズ長官会談, 統合局長・スナイダー会談, 記者会見, 外相, 官房長官, 米国下院歳出委員会対外活動分科委非公開聴聞会, スナイダー国務省日本部長 キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43630

B-52 撤去要請目に対する大臣応答振り

B-52
大臣応答



大正心学

大正心学

アメリカ局長
参事官
北米課長

恒
利

裁
無期限

沖繩 B-52 撤去要請団に対する大臣応答振り

昭和三十二年十一月十九日
アメリカ局北米課

一、本件要請団の団員構成、特に団長亀甲康吉氏の性格よりみて、一行は必ずしも急進的ではなく、また政治的色彩も有するようにも思われず、専ら人道的見地から B-52 の撤去を真剣に訴えようとするに思われる。
従って、一行に對し、親身になつて是等の訴えを

外務省

2

用くといふ態度が恒すべしとの望ましいと考へる。

二、一行の訴えを聴取した後、大臣より次のように応答されることと思はれる。

一、沖繩住民の不安は充分理解できる。政府としても既に本年二月米國に對し、沖繩住民に不安を与へるよう配慮するよう申し入れた。十一月十九日の事故に際しては安全への万全の配慮方を申し入れた。他方米國も沖繩を B-52 の恒久基地化する意向は明白に

外務省

